

科目名称：	人間と社会（幼児教育学科）	
担当者名：	三浦 哲志	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	2
授業の目的・テーマ		
日常生活において接する国内外の様々なニュースを理解するためには、各国の政治・歴史・文化などについての知的好奇心と幅広い知識が必要です。現在起きている様々な問題に触れ、自ら考えることで、大学生として相応しい知識・教養・思考力を身に付けることがこの授業の目的です。受講者には、提示される話題に興味を持ち積極的に情報を収集することを期待します。		
授業の達成目標・到達目標		
国内外の様々な分野の問題に関して知識を得て、思考力を伸長させ、教養の基礎を築くことが目標です。		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)		60	40		100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
全学DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし		

評価ルーブリック	素晴らしい	とてもよい	よい	要努力
身近な社会問題への理解	身近な社会問題の内容を正確に理解し、合理的な解決策を提案できる。	身近な社会問題の内容を一通り理解し、他者に説明できる。	身近な社会問題の内容は理解しているが、関心が薄い。	身近な社会問題の内容が理解できず、関心も持てない。
国外の諸問題への理解	国外の諸問題の内容を正確に理解し、合理的な解決策を提案できる。	国外の諸問題の内容を一通り理解し、他者に説明できる。	国外の諸問題の内容は理解しているが、関心が薄い。	国外の諸問題の内容が理解できず、関心も持てない。
自らの人生設計について	授業内容を理解し、自らの将来を意欲的かつ現実的に検討できる。	授業内容を踏まえ、自らの将来を現実的に検討できる。	授業内容を踏まえ、自らの将来を検討しようとする姿勢がある。	授業内容に関心を持たず、自らの将来を真剣に検討しようとししない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 学歴と教養	授業内で配付したプリント・資料などを読み小レポートをまとめる。	30分
第2回 収入と教育格差(授業内でグループワーク)	グループワークの学修成果について小レポートをまとめる。	30分
第3回 日本の人口減少問題(授業内でグループワーク)	グループワークの学修成果について小レポートをまとめる。	30分
第4回 日本のマスコミ	授業内で配付したプリント・資料を読み小レポートをまとめる。	30分
第5回 ローフードと教育	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第6回 低価格商品の問題点	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第7回 産業化された畜産の問題点	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第8回 就職について(授業内でグループワーク)	グループワークの学修成果について小レポートをまとめる。	30分
第9回 就職について(授業内でグループワーク)	グループワークの学修成果について小レポートをまとめる。	30分
第10回 世界の宗教の現状	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第11回 女性の人権	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第12回 SNSの現状	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第13回 中国の歴史と文化	視聴したDVD、授業内で配布したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第14回 中国の歴史と文化	視聴したDVD、授業内で配付したプリント・資料などから小レポートをまとめる。	30分
第15回 確認小テストとまとめ	これまでの学修内容を整理し確認テストに備える	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
授業内提出課題40%、確認小テスト60%

課題に対するフィードバック

授業内提出の小レポートは確認して返却する

教科書・参考書

プリント配付